

Ⅲ. 川崎市上作延保育園

1. 保育所の保育目標

〈方針と特色〉

乳児保育のポイントは、保育者の人間的で優しい世話を受けながら、落ち着いた雰囲気の中で情緒の安定を計り一人一人の豊かな個性を育くみます。

幼児保育のポイントは、保育者との安定した関係を基盤に恵まれた自然環境を取り入れながら、集団の中で一人一人の子どもが持っている力や要求を引き出し、友達と遊ぶ楽しさや喜びを知らせています。

お家の人や地域の人たちが保育に参加する機会を広げながら、共に子育てをしています。

〈上作延保育園の子ども像〉

- 健康で明るい子ども
- 素直に自分の気持ちを表現出来る子ども
- 何にでも興味を示し、意欲的にとりくめる子ども
- やさしい心を持ち、思いやりを持てる子ども
- 自分で考え、行動できる子ども

2. 保育所における食育の計画づくりの方針

1) 食育の位置づけ

モデル園になって何を進めて行きたいか職員全体で話し合いをしました。上作延保育園として「どんな子どもを育てていきたいか」という視点から話していきました。そして「おいしく食べる」を大きな目標としました。ではおいしく食べるためにはどんな事をしていく必要があるのでしょうか？そこでサブテーマを考えて行きました。

○健康な身体をつくる

健康が大切である。遊びを通して健康な身体づくりをしていく。

○お腹がすくりズムがもてる

生活リズムはどうだろう。家庭も巻き込み生活リズムを整えていく。お腹がすいたときに食事になるようなリズムをつくる。

○基本的な食習慣を身につける

スプーンやフォーク、箸の持ち方や食事マナーを伝え、身につけることが必要。

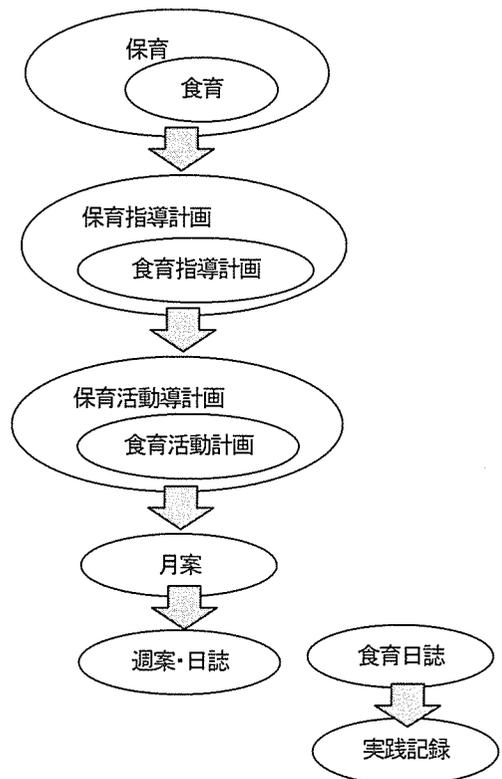
○感謝の気持ちを持つ

作った人や食べ物に対しても感謝の気持ちを持つような子に育てたい。

目標から年間計画、活動計画の中に、食育はもともと入っているものなので、特別取り出さずにやっけて行こうということになりました。

しかし、進めていくうちに計画が見えにくい、反省の時にもやれたかどうか確認する時にわかりにくいということになり、本来保育計画と分けたりはしたくなかったのですが、自分たちが意識するためにも取り出して考えようということになり、試行錯誤を繰り返しながら年齢別の食育年間指導計画を作成しました。[資料1-1、2]

そして、各クラス担任が活動計画を作成、職員全体で年齢のつながりを見たり、各クラスがどんな事をやっていくのか確認しました。その中で見えてきた事は園庭も広く、実のなる木がたくさんあ



り、畑もあることから収穫物や栽培物を利用し、育て味わったり、散歩で近所の畑の様子を見るなど肌で栽培物を感じる事、調理保育を行ったり、収穫物を家に持ち帰り、家でも調理して食べてもらい、保護者を巻き込んでいきたいなどでした。

* らいおん組(5歳児クラス)

[資料2-1]

- 栽培について…園で使える畑の場所の関係で、ブロッコリーの苗植えの時期を遅らせました。また、計画には載せていませんでしたが、夏野菜の失敗を子どもと話し合う中では、冬野菜については2月の豚汁作りもあるので、人参・大根の栽培も行なうことにしました。
- 収穫について…キウイを1月としていましたが、実際には11月～12月にかけての収穫となったため、焼き芋・もちつき、その他の行事と重なりジャム作りまではできませんでした。
- 活動について…Ⅲ期く食と料理(利用・加工)を計画しました。日常の中の行事(敬老の日や勤労感謝の日等)と結びつけて、父母や祖父母の職業見学等を活かしながら、食にちなんだ「物ができるまで」を計画してみました。職業的に難しかったり予定が合わなかったりで、買い物を経験すること、絵本・図鑑を利用して知ることのみに終わってしまいました。

* はと組(1・2歳児混合クラス)

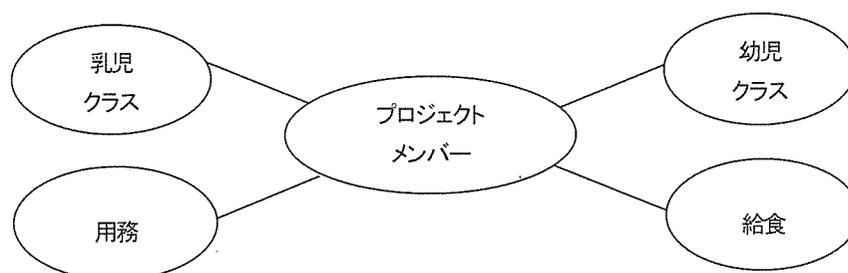
[資料2-2]

- Ⅱ・Ⅲ期の実体験としての“味わう”という経験ですが、木から取って、その行動のすぐ先に“口にす”ということがなかなかできにくい(食べる事を知らせる、許可を得る、保存する為に給食室と連絡をとる、他クラス、特に収穫を楽しみにしているであろう幼児クラスとの関連等、一連の手続きがある)為、気軽にできなかった事は事実としてあります。そしてその年の収穫量にも大きく左右されるので、職員同士密な連絡を取り合うことが必要であると思われました。

2) 職員間の連携体制づくりの工夫

プロジェクトメンバーは、園長、乳児クラス(1名)、幼児クラス(2名)、フリー(1名)、栄養士(1名)、看護師(1名)から成り立っていて、常に園全体の情報を集め、プロジェクトからの発信も園内に届くように進めています。

そして今年度の反省も含め、来年度は園内研修として職員全体が食育プロジェクトに関わっていくよう考えています。



年間食育計画

<理想とする子ども像>

・食育指針による「食育目標」

- ①お腹がすくリズムのもてる子ども
- ②食べたいもの、好きなものが増える子ども
- ③一緒に食べたい人がいる子ども
- ④食事づくり、準備にかかわる子ども
- ⑤食べものを話題にする子ども

・上作延保育園としての「食育目標」

「おいしくたべる」

- ・健康なからだをつくる。
- ・お腹がすくリズムがもてる。
- ・食べものに対して興味、関心を持つ。
- ・基本的な食習慣を身につける。

	I 期(4～5月)	II 期(6～8月)	III 期(9～12月)	IV 期(1～3月)
ねらい	・保育園の食事に慣れる	・衛生面に関心を持つ	・いろいろな種類の食品に親しむ	・食事を楽しむ
0歳	・一人一人の生活リズムを重視し食事をすすめる。 ・食器に慣れる。 ・離乳食を喜んで食べる。	・生活リズムが確立し、食事の時間が定着する。 ・一人一人に合わせてコップなどを使い始める。 ・食事の前後に嫌がらずに口の周り手を拭いてもらう。	・手助けされながら、手づかみで自分から食べようとする。 ・発達に応じて乳児食へ移行する。	・手づかみで食べたり、スプーンフォークを使って食べようとする。
1歳	・保育園の食事の雰囲気慣れる ・手助けされながら、食事の前に手を洗う。	・自分と他児の食べ物の区別がつく ・手助けされながらスプーンフォークを使って食べる。 ・促されて食後の歯磨きをする。	・食事の前後、口の周りや手を自分で拭こうとする。 ・様々な食品や調理形態に慣れる。	・食べ物の名前に興味を持つ。 ・友達と一緒に食べる楽しさがわかる。
2歳	・食事の前に手を洗う。 ・食前、食後の挨拶ができる。 ・こぼしながらも自分で食べようとする。	・食後の歯磨きが習慣化する。 ・基本的な食事の仕方を少しずつ知る。(姿勢)	・いろいろなものを促されて食べようとする。 ・スプーン、フォークを使って一人で食べようとする。 ・基本的な食事の仕方を少しずつ知る。(食器に手を添える、よくかんで食べる)	・友達と楽しく食べる。 ・食べ物の名前を知る。 ・スプーン、フォークを併用しながらも、箸を使って食べようとする。

	I 期(4～5月)	II 期(6～8月)	III 期(9～12月)	IV 期(1～3月)
ねらい	・食事の仕方を身につける。	・栽培への興味、関心を持つ。	・いろいろな種類の食品に興味をもつ	・みんなで食べられる楽しさを知る。
3歳	・食前、食後の挨拶をする。 ・食事をするのに必要な準備や片づけを知り、自分でしようとする。 ・基本的な食事の仕方を知る。 (食事のときの姿勢など) ・食事の前に自分で手洗いし、清潔を保つ。 ・食事の後に歯磨きをし、口腔内を清潔にする。	・基本的な食事の仕方を知る。 ・箸に慣れる。(スプーン、フォークを併用しながら) ・野菜作りを通して野菜への興味、関心を育て、収穫の喜びや食べることの楽しさを味わう。	・いろいろな種類の食品が食べられるようになる。 ・箸を正しく使って食べようとする。 ・基本的な食事の仕方を知る。 (交互食べ、食器を持つ)	・献立や食品に興味や関心を持つ。 ・箸を正しく使って食べる。 ・楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をし、いろいろな食べ物を進んで食べようとする。
4歳	・食前、食後の挨拶ができる。 ・食事をするのに必要な準備や片づけを知り、自分でする。 ・基本的な食事の仕方を知り、行おうとする。 ・手洗いの仕方を知り、丁寧にいう。 ・歯磨きの大切さを知り、口腔内を清潔にする。	・食材に触れ、調理に関心を持つ。 ・食後の歯磨きを進んでする。 ・野菜作りを通してその成長を知り、収穫の喜びを味わう。	・楽しんで食事をし、基本的な食事の仕方が身につく。 ・食べ物と体の関係に関心を持つ。 ・食材に触れることにより調理の雰囲気や楽しさを味わう。	・楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をし、いろいろな食べ物を進んで食べようとする。 ・料理や食品に興味や関心を持つ。
5歳	・食前、食後の挨拶ができる。 ・食事をするのに必要な準備や後片づけを知り、自分でする。 ・友達と一緒に楽しんで食事をし、食事の仕方を身につける。 ・歯磨きの大切さを知り、歯磨きの仕方を身につけ、口腔内を清潔にする。 ・食べ物と体の関係に関心を持つ。	・友達と一緒に楽しんで食事をし、食事の仕方を身につける。 ・食中毒について知り丁寧な手洗いの仕方を身につける。 ・野菜作りを通してその成長を知り、収穫の喜びを味わいながら、旬のあることを知る。	・当番活動～ ・衛生に配慮しながら調理保育に参加する。 ・調理の楽しさを知り、食への興味や関心を持つ。 ・自分で食べられる量がわかる。 ・食べ物と体の関係を知る。	・衛生に配慮しながら調理保育に参加する。 ・食事をすることの意味がわかり楽しんで食事をする。 ・友達と会話を楽しみながら食事を

平成18年度 年間食育活動計画 はと組(1・2歳混合クラス)

	I期(4月～5月)	II期(6月～8月)	III期(9月～12月)	IV期(1月～3月)
栽培 収穫 調理				
活 動	絵本 食べもの・果物	園の栽培物・果物をみる (プチトマト・ナス・ピワなど) 紙芝居	散歩に行き、畑を見る 収穫した物を食べる (焼き芋・柿・みかん等) もちつき ままごと	絵カード (カード合わせ) 絵本(簡単なストーリーのあるもの) 劇ごっこ(大きなカブ等)
配 慮	・進級・新入の不安も考慮し 今まで親しんできた絵本などを 取り入れる。 (保育者の関わりを大切に していく)	・実体験として本物を見たり 味わったりする。 ・簡単な内容の紙芝居や絵本を みる。 (こぐまちゃんのホットケーキ)	・土に植わっている様子を見られ るようにする。 ・味わう事により、興味関心が高 められるようにする。 ・経験した事を手遊びや遊びの 中で再現して遊べるようにする。	・友達と関わりを持つ中で友達と 一緒に食べる楽しさまでつなげて いく。

平成18年度 年間食育活動計画 らいおん組(5歳児クラス)

	I 期(4月～5月)	II 期(6月～8月)	III 期(9月～12月)	IV 期(1月～3月)
栽培	畑作り ・種まき・枝豆(4月) ・苗植え・稲、かぼちゃ、さつま芋 とうもろこし(5月)	・苗植え・ブロッコリー	・種まき・ほうれん草(9月)	・キウイ(1月)
収穫	・よもぎ摘み(4～5月)	・びわ、山もも(6月) ・枝豆、かぼちゃ、とうもろこし (7～8月)	・ざくろ(9月) ・お米、柿、ぶどう、芋掘り(10月) ・みかん(11月)・ブロッコリー(12月)	・ジャム作り ・豚汁作り(2月)・クッキー作り(3月)
調理	・グリーンピースの莢むき(5月) ・よもぎ団子作り(4～5月)	・枝豆の莢もぎ ・とうもろこしの皮むき(7～8月)	・カレー作り(9月)・焼き芋(11月) ・もちつき(米とぎ、大福作り)(12月)	
活動	〈食と植物(自然)〉 ・種の成長・草花探し(園庭、散歩) ・土と砂の違い・水栽培 ―描・造― ・成長の様子を描く ・染め紙遊び(よもぎ、山もも) ―集団ゲーム― ・園庭の木の葉探し ―年間通して― ・水やり当番・果物カレンダー・畑への散歩	〈食と身体〉 ・健康列車・家庭の朝食調べ ・虫歯の話・手洗いの大切さ ・水の大切さ(釜の様子)・体の本 ―描・造― ・収穫物を描く、粘土で作る (ままごとに利用) ・とうもろこしの皮を使って人形作り ―集団ゲーム・カードゲーム― ・フルーツバスケット(野菜) ・野菜カード(葉、花、実)	〈食と料理(利用、加工)〉 ・牛乳が出来るまで ・乾物のもどし ・物が出来るまで(見学) ―描・造― ・芋掘りの絵 ・野菜スタンプ、版画 ―集団ゲーム・カードゲーム― ・何を見ているか ・スリーヒント	〈食と文化(人との関わり)〉 ・行事、伝統の食を知る (お正月、鏡開き、七草、節分、雛祭り) ・一年を振り返って 写真、果物カレンダーを利用 して ・また春が来る-来年の年長へ ―描・造― ・切り紙、クッキー作り
配慮	・保育士が計画した事その他、子どもが興味を持ったものも活動に入れていく。 ・子どもが実際に試せる事を多く計画し、その中での子どもの気づきに合わせ、話しを進めていく。	・食べものと健康面の両方の大切さをバランスよく伝えられる様にする。 ・カードゲーム等は、行う前に野菜を観察したり大人数になりすぎたりしないようにし、どの子も楽しく楽しめる形で行っていく。	・食以外にも、加工された物、人が工夫した物に触れたり職業の話しを聞いたりする中で、物を大切にしたり、感謝したりする気持ちを育てる様にする。	・今まで食に対して知った事、気づいた事を改めて考えたりする機会を作る。 ・日本の伝統と合わせて、自分の家なりの誕生日や行事の過ごし方を考えたり、卒園に向けて自分たちが考え、在園児をクラスに招待したり園に残せる物を計画出来るようにする。

* 歌やお話も季節や食に関連した物を入れていく

3. 保育所における食育プログラムの実施内容と評価・改善

1) 子どもの食育

(1) カレーパーティーとひなまつりパーティー

1・2歳児

① ねらい

楽しい雰囲気の中、みんなでおいしく食べる

② 活動の実際

「おいしく食べる」という食育目標を乳児におろす時に各クラスでは年齢発達に応じ計画を立ててきました。信頼できる大人(保育者)との関係を基に楽しく落ち着いて食べられるように食事の環境を整えたり、保育者の動線、言葉かけの量や適切さを確認、見直す為に食事風景のビデオを撮って、全職員で話し合いを重ねてきました。保育者自身の関わり方を振り返る材料になったり、子どもの目線で見ることができ、明日へのより良い保育をする為に貴重な経験でした。

このように足元を固め、日々の積み重ねを通し、食事を考える時に乳児でも無理なく「楽しくおいしく食べる」機会を持ちたいと思い、取り組んだのが、カレーパーティー・ひなまつりパーティーでした。

普段からクラスを越えたコーナー遊び(各保育室にそれぞれいくつかの遊びコーナーを設け、好きな所で遊ぶ)を設定し、他クラスとの関わりを自然な形で持ってきました。その延長線で、食べることを共にする経験につなげていきました。もうすぐクリスマスという12月。いつもと違う華やかさや雰囲気を盛り上げる為に職員が赤いエプロンや三角巾をつけてサンタクロース風に変身。これは用務員がデザイン、製作したものです。そして、テーブルにはランチョンマットや紙ナプキン、花、壁にはタペストリー等々。子どもたちの目の前であたたかいカレーをよそってあげたいと給食室も協力。園長もテーブルにつき、子ども36名大人10名が楽しいひと時を過ごしました。

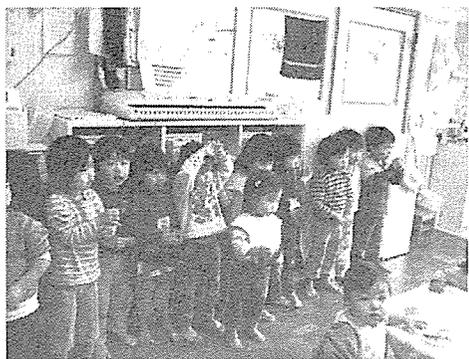
3月のひなまつりには、おやつがケーキだということで、お昼寝あけに集合。女の子のお祭りですが、みんなでお祝いし楽しもうと、男の子も好きな色の髪飾りをつけ参加。「かわいい！」の声に満足そうでした。

③ 評価・反省

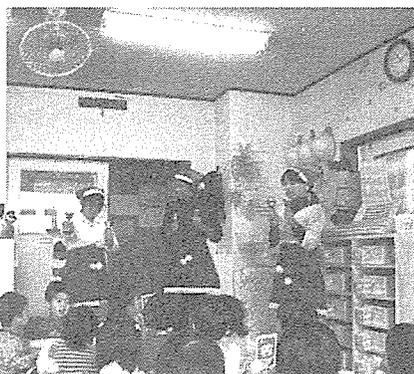
保育者が子ども達の喜んでる顔を引き出す為に、そして食を豊かなものにする為にアイデアを出し、全職種が自分の出来る事は何か？と協力体制を作り、実践していく事で無理なく、楽しく、乳児クラスでも会食が出来る事を実感しました。子ども達の笑顔により、職員も元気をもらい笑顔になり、みんなが食卓を囲む事で「おいしく食べる」事ができたと思います。野菜が苦手だった子も楽しい雰囲気に誘われて自ら全部食べたという、嬉しい出来事もありました。このような経験が、食べ物に興味・関心を持つ事になり、今後の栽培や調理に繋がっていく土台作りの時期となる事と思います。

カレーパーティー

今日はみんなの大好きなカレーの日。だから、みんなで集まってカレーパーティー！！！！



りすぐみさんがクリスマスの歌を歌ってくれました！
(ちょっぴり踊りつき)



「では職員はハンドベルをお聞かせしましょう」
みんな静かに聞き入ってくれました。(…かな?)

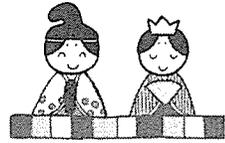


「さあ、おいしいカレーいただきます！」
「たくさん食べてね。おかわりたくさんあるよー」



ハンタンのランチョンマットにお花にナプキン。
なんだかレストランみたい??!!

ひなまつりパーティー



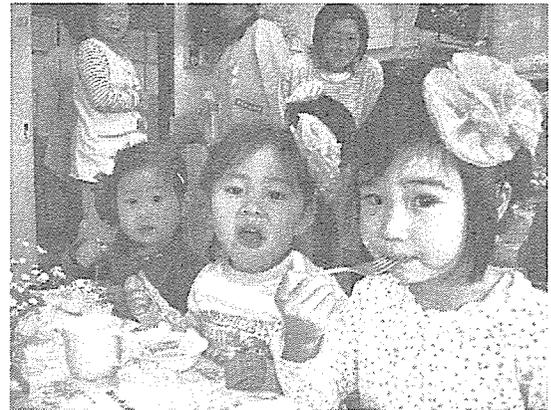
3月3日はひなまつり。おんなの子の成長をお祝いする日。今日はちよっぴり早いけれど、ひなまつりパーティーをしました。



何かはじまるよ？
おいしそうなのが
運ばれてきたよ？！
ひなまつりだって！！
みんなで
「うれしいひなまつり」を歌って
「いただきます！！」



「おいしいね~!!!」



頭にかざい付けちゃいました。
かわいいでしょ？



こんなおやつ。おいしそう！！
おひるごはんもとっても好評でした。
玄関の見本をご覧ください！！



(2) 栽培を通しての豚汁づくり

3・4・5歳児

① ねらい

「みんなで食べられる楽しさを知る」というねらいを持ち、幼児クラス全員で“豚汁作り”に取り組みました。

② 活動の実際

上作延保育園では「おいしく食べる」を目標に掲げ一年間様々な事に取り組んできました。園には広い園庭があります。そこには様々な木々があり幼児クラス前のテラスには畑があります。その特色を活かし栽培を通して食材が育つ為にどれだけの手間がかかっているかを感じ、収穫物を調理し味わう事で食べ物を大切にする気持ちや感謝の気持ちを持つ事ができればと考えてきました。

これまでに3歳児はプチトマトを栽培し、夏には赤やオレンジに色づいた実を園や家庭で味わいました。4歳児はナス・ピーマン・スイカの栽培に挑戦しました。スイカは直径25cm程の実を6個つけ、その内の5個を24人の子ども達で分け合って食べました。5歳児は春には散歩先でももぎを摘んで“よもぎ団子作り”、秋には食材の買出しから皮むき等の調理を経験しての“カレー作り”等を体験してきました。各年齢に合わせた栽培や調理を経験した中で少しずつ食べることへの興味・関心が育ってきた事が感じられるようになった2月に、幼児クラス合同で“豚汁作り”を体験する事となったのです。

食材として5歳児が栽培した大根を加え、3・4歳児で他の食材の買出しをしました。調理では食材をちぎる、皮をむく、型をぬく、包丁で切ると各年齢ができる事に挑戦しました。する事は違っても“みんなで一緒に作る”という気持ちを大切にする為に、みんなを見渡せる事ができる部屋に集まり調理をする工夫もしました。出来上がった“豚汁”は、園庭に幼児クラスが集まり暖かい日差しの中でおいしく食べました。

③ 評価・反省

今回は園だけでなく近隣の業者さんの協力も得る事ができました。ボールを手に、豆腐屋へ行き豆腐屋のお店のなかまで見せてもらったり、野菜を買いに八百屋へ出かければ、目の前で野菜を必要な分だけ切り分けてくれたりと普段でもあじわえない経験をすることができました。これも子ども達にとっては大きな経験となり食への興味・関心が深まったのではないかと思います。また、実際に自分たちで調理をした中で、食材に触れての感触や感想を子ども達で話し合ったりする姿もありました。実体験の影響の大きさを感じたのは、食事の時です。なにぶん子ども達が切ったり型をぬいたりした野菜です。とても厚みのある人参や、一口では入らない大きさの大根がありました。普段なら「大きすぎるから食べない」と言っていたと思いますが、このときは違いました。それがむしろ当たり前！というかのように喜んで食べていたのです。

今回、栽培や調理を体験してきましたが、うまく育たなかった事もありました。その都度、何故育たなかったのかと子ども達と一緒に考えてきたことを大切にしていきたいと思います。また、うまく育った時の「次は〇〇を植えようよ」と言う子どもの声や喜びの気持ちも大切にしていきたいと思います。

豚汁作りを行った後、家庭から「家でもこんなにやくをちぎりたいと言ってやってみました。」とか「手伝いたいと言って一緒に作りました。」と言う声が聞かれました。これをきっかけに、保護者も更に食育に関心が広がっていけばと願う気持ちでいっぱいです。この一年間に積み重ねてきた経験で得た食への興味・関心は是非次へと繋げていきたいと思っています。



クラス前のテラスに畑があります。いつでも、見たり世話をしたりできます。

こんな栽培物を育てました



3歳児が育てたプチトマト



4歳児が育てたすいか



5歳児が植えたさつまい

よもぎだんごづくり

今日は子どもたちが楽しみにしていた「よもぎだんご」を作りました！にぎやかに、そして真剣につくった子ども達の様子をお知らせします。分量や手順は、クラスだよりでお知らせしますのでお楽しみに～。

エフロンをつけて

よもぎの匂いがする！

耳たぶぐらいの固さになったかな？

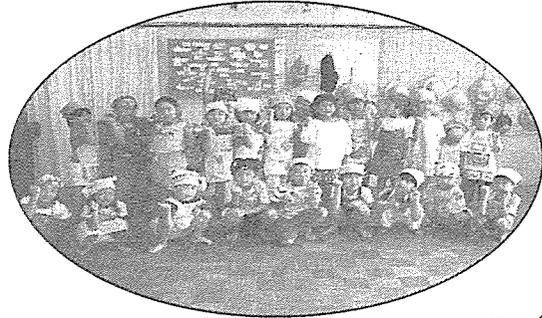
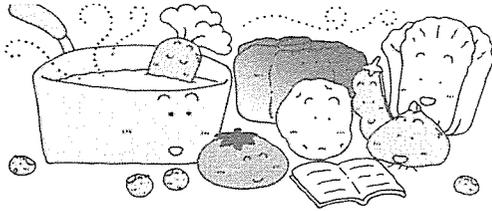
まるめてまるめて…。

おいし～い！

給食室でゆでて
もらいました。
おいそう！

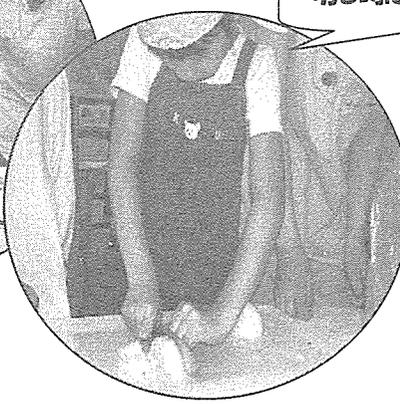
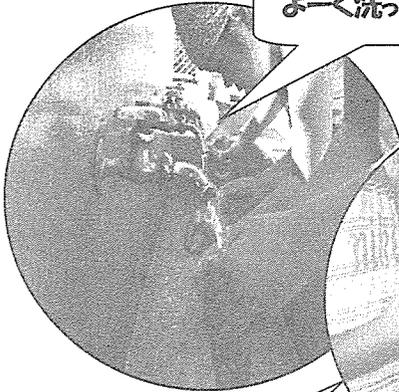
カレーづくり

前日に買い物をして、いよいよ今日はカレー作りです。張り切ることも達にも頼もしさも、一抹の不安を覚えながら、調理を開始しました…。



よく洗って…。

おいしいのつくるぞ！

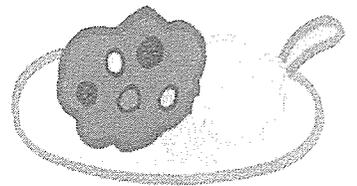


切る時は猫の手だよ。

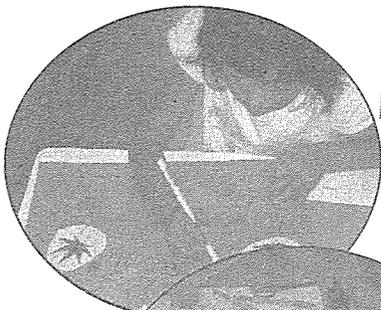
皮むきはスーッとね。

煮込か間に…

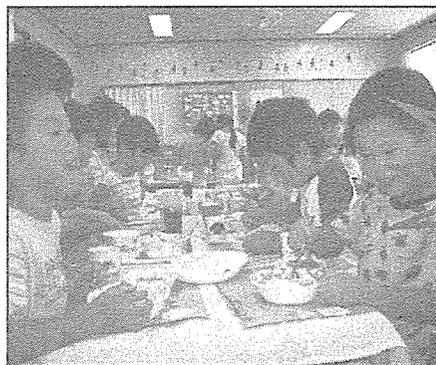
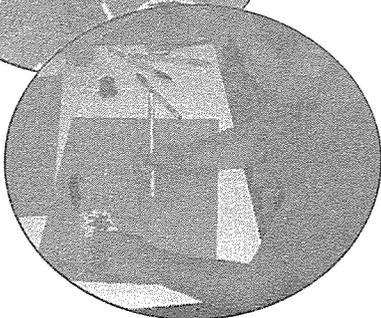
給食室でカレーを
煮こんでもらいま
した！



ランチョンマットづくり

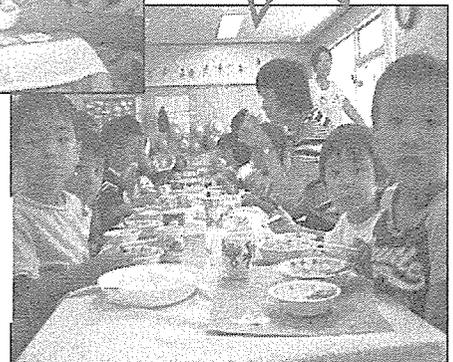


出来たマット
を敷いて…



おいしいーは！

おかわりもたくさんして…
とりあえず
大成功！でした。



豚汁作り



八百屋さんにお買い物



豆腐屋さんでは
お店の中まで拝見！！



3歳児はこんにゃくを
ちぎりました



4歳児は型抜きに挑戦



5歳児は
皮むきと
包丁を使って野菜を切りました。
この、真剣な顔！！

さあ！
いよいよ青空の下で
食事！！
おいしかったね



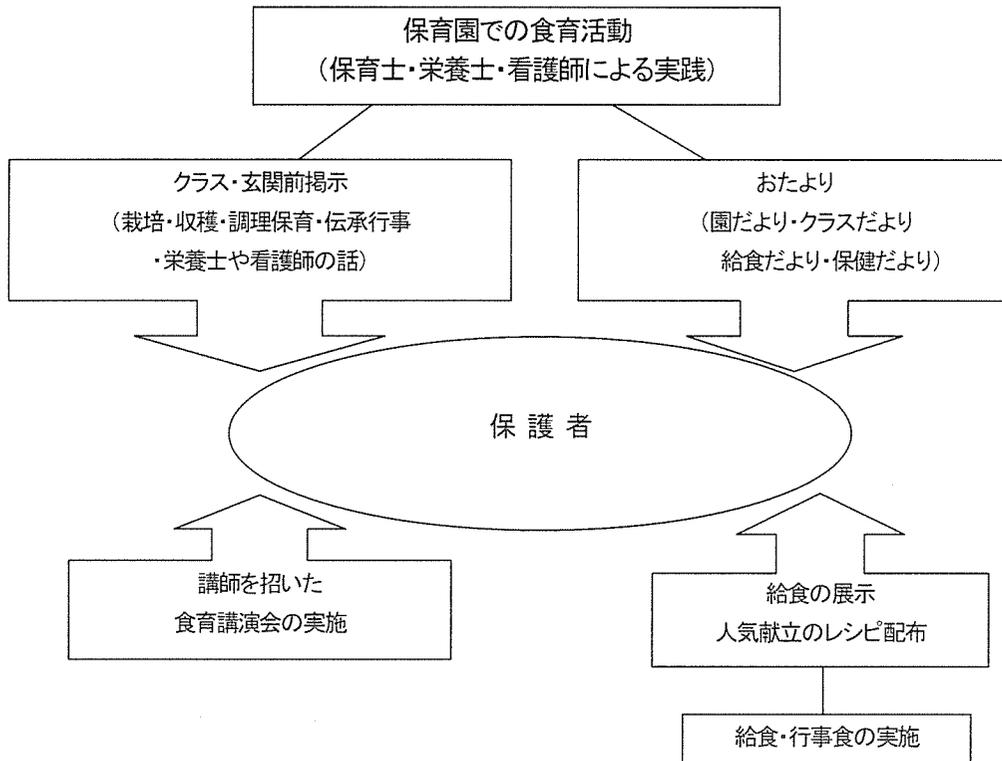
こんなに大きい
人参だって、おいしく
食べました！



2) 在園児の家庭との連携

① ねらい

保護者の関心を高め、家庭を巻き込んだ食育の実践を行うために以下の活動を行いました。



② 活動の実際と評価・反省

<実践例：講演会>

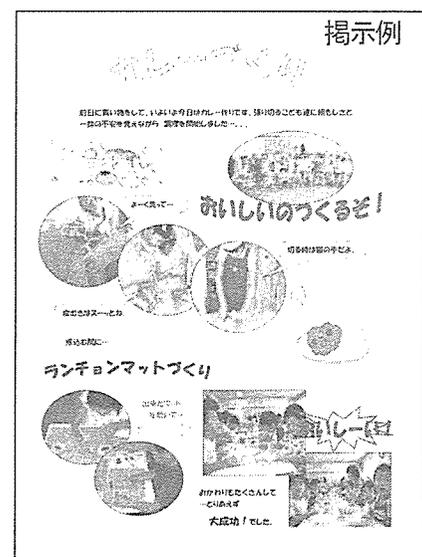
6月に東京家政学院大学助教授の酒井治子氏を招き、食育についての講演会を実施しました。なるべく多くの保護者が参加できるように土曜日の午前中に日時を設定したので、24人／全101世帯中の参加がありました。当日は保護者だけでなく職員も参加し、なごやかな雰囲気の中で講師の話を聞きながら、食に対しての幅広い意見が交わされていました。

講演会は今年度が初めての試みでしたが多くの参加がありました。当日は意見交換が活発に行われ、保護者が食育について考える良い機会になったと考えられます。後日講演会の様子を掲示して感想を募ったのですが、回収率が悪くアンケートの配布・回収方法に反省が残りました。

<実践例：掲示・おたより>

保育園で調理保育や栄養指導・衛生指導を行った際は、その日のうちに写真入りのポスターを作成して、最も保護者の目に付く玄関に掲示しました。写真入りのポスターはお迎えの時に保護者と子どもが掲示を見ながら話をするだけでなく、職員が保護者へ活動を話すきっかけにもなりました。3歳以上児クラスが合同で豚汁作りをした時には、3歳児の子どもが「こんにゃくちぎりを体験し、その後「家でも子どもがこんにゃくをちぎりたいと話していた」という声も聞かれ、保育園の活動が家庭にも伝わっている手ごたえを感じました。

園だよりは保育士が担当し、給食だよりと保健だよりはそれぞれ栄養士と看護師が担当しています。毎月のテーマに一貫性があるおたよりを作成するために、プロジェクトを組んで年度始めに年間計画を作成しました。保育の活動内容によっては多少の変更をすることもありましたが、テーマを含めほぼ計画通りに実施することができました。来年



度も同様に年間計画を決め、それに沿って実施していく予定です。

写真入りのポスターは保育園の活動を分かりやすく保護者に伝える手段として有効に働いたといえます。速報という意味合いが大きいので、当日中に掲示するよう心がけたことも良かったと考えられます。今年度は玄関に掲示し、保護者の目に付くという点では良かったのですが、食育を印象付けるということには繋がりがなかったのので来年度へ向けて改めて検討する必要があります。

<実践例：人気献立のレシピ配布>

人気献立のレシピ配布は栄養士が担当し、毎月2品ずつ行いました。これは1年前から継続して実施している活動です。レシピを持っていく保護者は10世帯以下と少ないのですが、保護者からのリクエストや作ってみての疑問点も寄せられました。リクエストされたレシピは次の月に反映し、作り方などの質問にはその場で答えていきました。来年度はより多くの保護者に関心を持ってもらえる工夫を行い、より良い活動にしていきたいと考えています。

今年度行った家庭への発信は単発的に行われていたために、ひとつひとつに対しての保護者の関心は得られても、保育園を挙げての食育実践をPRするという点には弱かったといえます。また、保護者からの反響も見えづらかったという反省が残りました。来年度は食育コーナーを設置するなど系統だった発信をする、保護者の要望を聞き取りやすくする方法の検討などを行い、より良い保育園と家庭との連携のあり方を考えていく予定です。

3) 地域との連携

		農家	豆腐屋
ねらい		作物の作り方、育て方を聞く。	パックに入っていない豆腐屋の豆腐を見せる。
内容		自分たちが育てた栽培物が思ったように育たなかったので、みんなで相談し農家の人に聞いてみる。	ボールを持って買いに行く。
年齢		5歳児	4歳児
成果	子どもの育ち	プロの人の話を畑で聞いたのでとてもよく聞いていて、活動につなげようと真剣に思った。	豆腐屋さんの中を見せてもらい、豆腐の水槽を見たり、豆を見たりしていろいろな事に気づいた。
	活動のあり方	その後「毎日みること」の大切さを教わり、倒れてないか、水は足りているかなど当番で見回ることになり、興味が向いてきた。	買うだけだったが店内を見せてもらい、お店の人との会話を楽しみ、スーパーとは違う買い方を知った。
課題		その時だけでなく、いつでも聞きに行けるよう、もう少し関係を密にとっておくとよい。	事前の連絡の時は店内には入れないと言われていたので、当日入れてもらえ活動が広がったが、必ず入れてもらえるとは限らない。

<農家との関わりを通じた活動>

上記の農家は芋ほりでお世話になっている人で、七夕の時には笹をもらったり、そのお礼に焼き芋や餅つきの時におすそわけしたりして交流を持っています。子どもがわかりやすい言葉を使って、詳しく教えてくれました。夏の栽培でうまく野菜が育たず興味が無くなりかけていたのですが、話を聞くことによっていっそう栽培物に目が向くようになりました。活動としても良かったと思われます。

<豆腐屋との関わりを通じた活動>

豆腐屋は保育園の近くにあり、ぜひ子どもたちと買いに行きたい旨を事前に伝えて買いに行くことができました。思っていた以上に丁寧に店内を見せてもらい、節分の豆まきの豆が豆腐になると子どもたち自身で気がつきました。水槽のきれいな水の中に入っている豆腐も驚いて見ていました。豆腐を入れるボールにほこりが入らないた

めにラップ持参で買いに行ったのですが、お店の人が紙を1枚ボールにのせてくれ、昔ながらの知恵も学ぶことができました。納入業者ではないのですが、地域にあるということで話をすると快く協力してくれました。他にも同様に協力してくれた店があり、もっと地域とつながっていけると実感しました。

4) 子育て支援(地域の子育て家庭)に向けて

保育園の近くにある子育て支援センターで開催されている講座で、0歳の子どもを持つ親向けに栄養士が離乳食の話をする活動を実施しました。

はじめに離乳期ごとの簡単なポイントを説明した後は、親から質問を出してもらい、栄養士がアドバイスしたり、一緒に参加している他の親とも話したりと自由に意見交換を行いました。最後には給食のレシピを配布し、参加者からは家庭での食事作りの参考になると喜ばれました。

今年度は地域支援にあまり力を注いでおらず、来年度以降の活動については検討していく予定です。

配布レシピの例)

いわしのかばやき風

<p><材料> 4人分</p> <p>まいわし(生) 4匹</p> <p>小麦粉 適量</p> <p>揚げ油</p> <p>だし汁 大さじ5強</p> <p>砂糖 大さじ2弱</p> <p>しょう油 大さじ1</p>	<p><作り方></p> <p>① 魚は水気を切る。</p> <p>② ①に小麦粉をまぶし、170°Cの油で3~4分揚げる。</p> <p>③ だし汁に砂糖・しょう油を加え煮立て、②の魚をからめる。</p> <p>※小麦粉は片栗粉でも代用できます</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 1年間の全体の振り返ったまとめ

食育の実践に当りどんな子どもに育てていきたいのかについて、保育士だけでなく、栄養士、看護師、調理員、用務員など、子どもにかかわる全職員で常に話し合いを重ねながら実践へとつなげてきました。

栽培物を通して実践していく中で、実際の栽培が思うように育たず、また収穫直前に虫や鳥に食べられてしまって全滅したりと、失敗と挑戦の繰り返しでした。子どもの「なぜ？」をそのままにせず、図鑑を見たり、園芸の本を読んだり、農家の人に聞いたり、子どもたちと一緒に考えながら栽培し、実を食べてしまった虫や鳥たちも生きていることを学び、そしておとなも子どもも食育を楽しみ、生きることへつなげていきました。毎日の生活を大切にしながら日常生活に根付いた食育の取り組みにしたいと職員全員が考え、食育を通して、ひとりひとりの子どもの育っていく環境の大切さや、生きていく力の素晴らしさを職員全員で確認できたことが大きな宝になっています。親と子、保育士と保護者が食の話題を共有し、連続した子どもの育ちを支えることができていると思います。

これからも子どもとともに、家庭とともに、食育を楽しみながら育んでいけるよう見守り、また、手助けをしていきたいと思っています。

IV. 川崎市戸手保育園

1. 保育所の保育目標

〈方針と特色〉

大人との信頼関係をもとに、一人ひとりを大切にされた保育を進めています。子どもが安心できる環境の下で、色々な遊びを楽しみ豊かな、心を育てること、また、集団の中で一人ひとりの子どもの持っている能力や要求が出せ、友達と遊ぶ楽しさを味わうことができることを目標としています。そのために、日々の保育の積み重ねを大事にし、保育活動にいかしています。

具体的な取り組みの一つとして、食育(ランチルーム)を位置づけ、異年齢との交流を深め、思いやりや、憧れの気持ち、考えて行動できる子を育てることを目指しています。ランチルームでの取り組みからうまれる、一人ひとりの意外性、出来事を大事にし、期待される子ども像をめざし、日々実践に取り組んでいます。

〈戸手保育園の子ども像〉

- 元気な子、楽しく食べられる子
- 素直で、思いやりのある子
- 考える子、約束を守れる子

2. 保育所における食育の計画づくりの方針

1) 食育の位置づけについて

子供達の成長発達段階を十分留意しながらさまざまな体験を通し、“生きる喜び”“生きる力”を育てていきたいと考えています。「食育」中心に保育士のみならず全職員で、全ての「子ども」の成長発達を願って日々、保育を実践しています。幼いうちから、「食を営む力を育む」ことは、子どもたちが自分自身で健康に生活できるよう力の基礎を培おうとするものと考えます。

- ・お腹がすくりズムのもてる子ども
- ・食べたいもの、好きなものが増える子ども
- ・一緒に食べたい人がいる子ども
- ・食事づくり、準備にかかわる子ども
- ・食べものを話題にする子ども

「期待される5つの子ども像」をめざし取り組みます。家庭でも食育の関心を高めることを共に進めていきます。「子どもから家庭へ、そして地域へ」と食育活動が広がり、保育園が発信拠点となれるよう日々努力しています。

〈食育の目標〉

保育目標の中に食育の目標「元気な子、楽しく食べられる子」を設けました。保育そのものが「食育」というイメージで捉えて、保育計画、指導計画へ反映させました。

計画づくりにおいては、「食育」をひとつの内容の項目にしたり、食育計画として別に立てたりするのではなく、今ある各年齢の年間指導計画、月の指導計画に食育の視点をふまえた内容に青色のアンダーラインを引いて、食育を意識して保育していくことにしました。そうすることにより、「保育」＝「食育」ということを明確にしながら、保育を通して食育をすすめていくことができました。

- ◇保育計画 [資料1—1, 2]
- ◇0歳児 保育指導計画 [資料2—1, 2]
- ◇4歳児 保育指導計画 [資料3—1, 2]

	0歳	1歳	2歳
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適に生活できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、一人ひとりの子どもの身体の状態を観察し、睡眠など適切な休息を用意し、快適な生活ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ・身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・午睡など適切に休息の時間をつくり、心身の疲れを癒して、集団生活による緊張を緩和する。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図り、甘えなどの依存的欲求を満たし情緒の安定を図る。 ・個人差に応じて離乳食を進め、色々な食品に慣れさせ乳児食への移行を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 ・保育士の愛情豊かな受容によって、清潔で気持ちの良い生活ができるようにする。 ・安心できる保育士との関係のもとで食事、排泄などの活動を通して、自分でしようとする気持ちの芽生えを促す。 ・食事の時には一緒にかむ真似をして見せ、咀嚼や嚥下機能の発達を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育士との関係のもとで、着脱、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする意欲を持たせる。 ・楽しく食事、間食をとる事ができるようにし、好きなものを少しずつ増やしていく。 ・落ち着いた雰囲気の中で、気持ちよく昼寝をする。 ・食べ物に関心を持ち、自分で進んでスプーン、フォークを使って食べようとする。
言葉・認識	<ul style="list-style-type: none"> ・優しく語りかけたり、発声や喃語に回答したりして、発語の意欲を育てる。 ・絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり触ったりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の習得を図り、友達との関わりが持てるようにする。 ・保育士との語りかけを喜んだり、自分から片言でしゃべる、使う事を楽しむ。 ・身の回りの様々なものを自由にいじって遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ。 ・絵本に興味のある子どもにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で、必要な簡単な言葉を聞き分け、やり取りを楽しむ。 ・自分の思った事、して欲しい事を言葉で伝える。 ・様々な事に関心を示し、言葉で表す。 ・絵本が大好きな子どもにする。
情緒・人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と一人ひとりの子どもとの愛情関係を築きながら、甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。 ・安心できる人的物的環境のもとで、子どもが興味を持ち、自分からしてみようとする意欲を大切に温かく見守る。 ・愛情豊かな特定の大人との継続的に応答的な授乳及び食事でのかわりが子どもの人間への信頼、愛情の基盤となるように配慮すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と一人ひとりの子どもとの愛着関係を築きながら、生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を十分満たす。 ・情緒の安定を図り、ひとり遊びを十分に楽しませ、友達にも自分から関わる事見守る。 ・絵本、玩具などに関心を持ち、それらを使ったあそび子ども同士の関わりを、温かく見守り適切な援助をする。 ・自己主張を尊重する。 ・子どもと一緒に食べたい人を見つける姿を受け止め、人への関心の広がりを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りに様々な人がいる事を知り、除々に友達と関わって遊ぶ楽しさを知る。 ・身近な小動物、植物、事物などに触れ、それらに興味、好奇心を持ち、探索や模倣などして親しむ。 ・ぶつかり合いが多くなるので、根気よく他の子どもとの関わり方を知らせて行く。 ・楽しい雰囲気の中で、一緒に食べる人、調理をする人に関心をもつ。
運動・遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を変えたり移動したりして色々な身体活動を十分に行なう。 ・身の回りのものに対する興味、関心を促し、探索活動が十分出来るようにする。 ・見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生活、あそびを通して、自由な活動を十分行い、身体を動かす事を楽しむ。(登る・下る・押す・跳ぶ・くぐる・引っ張る)(いじる・たたく・つまむ・転がす) ・身近な音楽に親しんだり、身体の動きを楽しんだりする。 ・周囲に興味や関心を示し、好きな遊びを見つけて楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と一緒に全身(走る、跳ぶ)や手指を使うあそびを楽しむ。 ・興味ある事を模倣したり(ごっこあそび)、経験したい事を保育士と共に好きなように表現したり楽しむ。 ・外遊びや遊具で遊ぶ機会を多くし、自主性に応じて遊べるように工夫する。 ・水や砂、土などの素材に触れて楽しむ。
保護者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの発育、発達、発育状態を適切に把握し、家庭との連携をとりながら個人差に配慮すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの発育、発達、発育状態を適切に把握し、家庭との連携をとりながら個人差に配慮すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを家庭でもすすめられるよう繰り返し伝えていく。

	3歳	4歳	5歳
健康	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもの欲求を十分満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 食事・排泄・睡眠・衣服の着脱等の身の回りの生活の始末の仕方や生活の仕方を身につける。 外遊びを十分するなど遊びの中で身体を動かし楽しさを味わう。 食事にあった食具(スプーンや箸など)の使い方を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもの要求を十分満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 自分で出来る事に喜びを持ちながら、健康、安全など生活に必要な基本的な習慣を次第に身につける。 危険なものや場所について分かり、遊具や用具などを使って身体を十分動かして遊ぶ。 食事の仕方やマナーを身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で出来る事の範囲を広げながら健康安全等生活に必要な基本的習慣を身につけ、理解して行動できる。 様々な遊具、用具を使い集団遊びや、やや複雑な運動を通して体を動かすことを楽しむ。 体や病気について関心を持ち、健康な生活の習慣を身につける。 食事の仕方やマナーが身につき、体と食物の関係に関心を持つ。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人と関わり、友達と遊ぶ事を楽しみ、その中で簡単な約束や決まりを知る。 自分で食事ができること、身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう。 異年齢の子どもに関心を持ち、関わりを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士や友達とのつながりを広げ、集団で活動する事を楽しむ。 友達と楽しく生活する中で、決まりの大切さに気付き、守ろうとする。 異年齢の子どもに関心を持ち、関わりを広げる。 身近な大人や友だちと、楽しく食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 周りの人々に対する親しみを深め、その中で自己を主張し相手の立場を理解して行動する。 友達と協力し、意欲的に活動して最後までやり遂げ、達成感を味わう。 異年齢の子どもとの関わりを深め、愛情を持つたり、身近な人に感謝の気持ちを持つ。 身近な大人や友達と楽しく食事をする。
環境	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、生活を広げていく。 身近な動植物、自然事象、社会事象に親しみ、触れ合ったり、模倣をしたりして遊ぶ事を楽しむ。 栽培を通して、身近な食材に親しみをもち、自分たちで育てた野菜のおいしさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境に興味を持ち自分から関わり物や数、量、形などに関心を持つ。 身近な動植物や自然事象に親しみ愛情や関心を深める。 自然の恵みの大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境や自然などに自らかかわり、様々な事物や事象と自分達の生活との関係に気付き、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を深める。 見たり考えたり扱ったりする中で、事物の性質や存在に興味を持ち、数、量、形などへの関心を深める。 栽培、食事などを通して、全てのものに命があることを知り、感謝の気持ちをもって食事を味わう。
言語	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な言葉がある程度分かり、したい事して欲しい事を言葉で表す。 絵本・お話など、見たり聞いたりして、内容や面白さを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 人との話を聞いたり、自分の経験した事を思っている事を話したりして言葉で伝える楽しさを味わう。 日常生活に必要な挨拶を身につける。 絵本、お話を見たり聞いたりする。イメージを広げ、言葉が豊かになり、絵本大好きな子にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験した事、考えた事等を言葉で表現し、伝え合う楽しさを味わう。 絵本や童話、視聴覚教材などを見たり、聞いたりして、様々なイメージを広げると共に言葉に対する感性が豊かになる。
表現	<ul style="list-style-type: none"> 様々なものを見たり、触れたりして、面白さ、美しさ等に気付き感性を豊かに持つ。 感じた事や思った事を描いたり、歌ったり身体を動かしたり自由に表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じた事や思った事、想像した事など様々な方法で自由に表現する。 身近な事物等に関心を持ちそれらの面白さ、不思議さ、美しさ等に気付き感性を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な社会や自然事象への関心が高まり、様々なものの面白さや不思議さ、美しさなどに対して感性を豊かにする。 感じた事や思った事、想像した事等工夫して、目標を持って色々な方法で表現する。 子どもの興味や自発性を大切に、調理しようとする意欲を育て、素材への関心を養う。
保護者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 食事のマナーを家庭でもすすめられるよう繰り返し伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの保育園での活動を色々な方法で保護者に知らせ、興味、関心をもってもらい一緒に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの保育園での活動を子どもを通して、色々な方法で保護者に知らせ、興味、関心をもってもらい一緒に取り組む。

アンダーライン:「食」と関連する部分

平成18年度 0歳児さくらんぼ組

保育指導計画

資料2-1

年間目標	1期 (4.5.6月)		2期 (7.8月)		3期 (9.10.11.12月)		4期 (1.2.3月)	
	内容	配慮	内容	配慮	内容	配慮	内容	配慮
<p>・個々のペースにあわせて生活リズムを整え健康に過ごす。</p> <p>・咀嚼の仕方を見え、いろいろな味や形状になれ</p> <p>・離乳食から乳児食へと進んでいく。</p> <p>・安全で活動しやすい環境を整え、探索活動や戸外遊びを楽しむ中で身体機能が伸びていく。</p> <p>・大人との暖かいふれあいの中で情緒が安定し、豊かな感情表現や発語への意欲を持つ。</p>	<p>・一人一人の成長過程を大切にしながら発達を急がせず、その時期に必要な遊びをじっくり保障していく。</p> <p>・楽しい雰囲気の中で保育士との関わり合いを大切にゆとりゆとりやさしく話しかけるなど積極的に関わり合いを楽しめることのできるようになっている。</p> <p>・子どもの意欲を満たしていきような月齢の幅を考慮した環境作りや動きかけをする。</p>	<p>・一人一人の生活リズムを把握しながら要求に応じた一人一人の丁寧な世話を心がけ、一日を通して安定した生活リズムを作っていく。</p> <p>・栄養士や家庭との連絡を密に取りながら段階を追って楽しく食事が出てくるように進める。</p> <p>・一人一人の成長過程を大切にしながら発達を急がせず、その時期に必要な遊びをじっくり保障していく。</p> <p>・楽しい雰囲気の中で保育士との関わり合いを大切にゆとりゆとりやさしく話しかけるなど積極的に関わり合いを楽しめることのできるようになっている。</p> <p>・子どもの意欲を満たしていきような月齢の幅を考慮した環境作りや動きかけをする。</p>	<p>・外気浴や戸外遊びをする中で皮膚に刺激を与えたり外界への興味や好奇心を育て、探索活動を楽しむ。</p> <p>・気候にあわせて衣服調節をし、活発に遊んで健康に過ごす。</p>	<p>・夏の遊び(お湯遊び、シャボン玉など)に親しむ。</p> <p>・水分補給と休息をしっかりととり夏バテを防止する。</p>	<p>・外気浴や戸外遊びをする中で皮膚に刺激を与えたり外界への興味や好奇心を育て、探索活動を楽しむ。</p> <p>・気候にあわせて衣服調節をし、活発に遊んで健康に過ごす。</p>	<p>・一人遊びを楽しんだり周りの友達に関心をもちながら遊ぶ。</p> <p>・なんごや片言をやさしく受けとめてもらいながら大人とのやりとりを楽しむ。</p> <p>・手洗いをし、寒さに負けず健康に過ごす。</p>	<p>・一人遊びを楽しんだり周りの友達に関心をもちながら遊ぶ。</p> <p>・なんごや片言をやさしく受けとめてもらいながら大人とのやりとりを楽しむ。</p> <p>・手洗いをし、寒さに負けず健康に過ごす。</p>	
健康	<p>・水分補給をしながら外気浴・日光浴をする</p> <p>・一人一人の体調に合わせて薄着になれていく</p> <p>・手・足・顔を拭いてもらう</p> <p>(高)食後お茶を飲み口の中を清潔にする 流水で手を洗う</p>	<p>・充分な水分の補給を受けゆとりゆとり休養をとる</p> <p>・日差しが強い日はひよけをする</p> <p>・沐浴をして清潔になり気持ちよくなる</p> <p>(高)歯の萌出にあわせ食後の歯磨きをしてもらう</p>	<p>・充分な水分の補給を受けゆとりゆとり休養をとる</p> <p>・個々の体調に合わせて衣服調節し健康に過ごす</p> <p>・鼻水が出たら拭いてもらう</p> <p>・食後にお茶を飲み口の中を清潔にする</p> <p>(低)流水で手を洗う</p>					
食	<p>・園の食事に慣れる</p> <p>(落)着いて慣れる</p> <p>(低)抱いて飲みかけられたり優しく話しかけてもらう</p> <p>ながら授乳してもらう</p> <p>・ミルク以外の味や感触に慣れる</p> <p>・スプーンになれる</p> <p>・抱っこされて少量ずつこっくんと飲み込むことになれる</p> <p>(高)自分で食べようとする意欲を認めいろいろな味に慣れ美味しく食べる</p> <p>・食前後の挨拶を動作・片言でしようとする</p> <p>・(姿勢が保てるようになつてから)椅子に座つてたべる</p>	<p>・園の食事に慣れる</p> <p>(落)着いて慣れる</p> <p>(低)抱いて飲みかけられたり優しく話しかけてもらう</p> <p>ながら授乳してもらう</p> <p>・ミルク以外の味や感触に慣れる</p> <p>・スプーンになれる</p> <p>・抱っこされて少量ずつこっくんと飲み込むことになれる</p> <p>(高)自分で食べようとする意欲を認めいろいろな味に慣れ美味しく食べる</p> <p>・食前後の挨拶を動作・片言でしようとする</p> <p>・(姿勢が保てるようになつてから)椅子に座つてたべる</p>	<p>・園の食事に慣れる</p> <p>(落)着いて慣れる</p> <p>(低)抱いて飲みかけられたり優しく話しかけてもらう</p> <p>ながら授乳してもらう</p> <p>・ミルク以外の味や感触に慣れる</p> <p>・スプーンになれる</p> <p>・抱っこされて少量ずつこっくんと飲み込むことになれる</p> <p>(高)自分で食べようとする意欲を認めいろいろな味に慣れ美味しく食べる</p> <p>・食前後の挨拶を動作・片言でしようとする</p> <p>・(姿勢が保てるようになつてから)椅子に座つてたべる</p>	<p>・園の食事に慣れる</p> <p>(落)着いて慣れる</p> <p>(低)抱いて飲みかけられたり優しく話しかけてもらう</p> <p>ながら授乳してもらう</p> <p>・ミルク以外の味や感触に慣れる</p> <p>・スプーンになれる</p> <p>・抱っこされて少量ずつこっくんと飲み込むことになれる</p> <p>(高)自分で食べようとする意欲を認めいろいろな味に慣れ美味しく食べる</p> <p>・食前後の挨拶を動作・片言でしようとする</p> <p>・(姿勢が保てるようになつてから)椅子に座つてたべる</p>	<p>・園の食事に慣れる</p> <p>(落)着いて慣れる</p> <p>(低)抱いて飲みかけられたり優しく話しかけてもらう</p> <p>ながら授乳してもらう</p> <p>・ミルク以外の味や感触に慣れる</p> <p>・スプーンになれる</p> <p>・抱っこされて少量ずつこっくんと飲み込むことになれる</p> <p>(高)自分で食べようとする意欲を認めいろいろな味に慣れ美味しく食べる</p> <p>・食前後の挨拶を動作・片言でしようとする</p> <p>・(姿勢が保てるようになつてから)椅子に座つてたべる</p>	<p>・園の食事に慣れる</p> <p>(落)着いて慣れる</p> <p>(低)抱いて飲みかけられたり優しく話しかけてもらう</p> <p>ながら授乳してもらう</p> <p>・ミルク以外の味や感触に慣れる</p> <p>・スプーンになれる</p> <p>・抱っこされて少量ずつこっくんと飲み込むことになれる</p> <p>(高)自分で食べようとする意欲を認めいろいろな味に慣れ美味しく食べる</p> <p>・食前後の挨拶を動作・片言でしようとする</p> <p>・(姿勢が保てるようになつてから)椅子に座つてたべる</p>	<p>・園の食事に慣れる</p> <p>(落)着いて慣れる</p> <p>(低)抱いて飲みかけられたり優しく話しかけてもらう</p> <p>ながら授乳してもらう</p> <p>・ミルク以外の味や感触に慣れる</p> <p>・スプーンになれる</p> <p>・抱っこされて少量ずつこっくんと飲み込むことになれる</p> <p>(高)自分で食べようとする意欲を認めいろいろな味に慣れ美味しく食べる</p> <p>・食前後の挨拶を動作・片言でしようとする</p> <p>・(姿勢が保てるようになつてから)椅子に座つてたべる</p>	<p>・園の食事に慣れる</p> <p>(落)着いて慣れる</p> <p>(低)抱いて飲みかけられたり優しく話しかけてもらう</p> <p>ながら授乳してもらう</p> <p>・ミルク以外の味や感触に慣れる</p> <p>・スプーンになれる</p> <p>・抱っこされて少量ずつこっくんと飲み込むことになれる</p> <p>(高)自分で食べようとする意欲を認めいろいろな味に慣れ美味しく食べる</p> <p>・食前後の挨拶を動作・片言でしようとする</p> <p>・(姿勢が保てるようになつてから)椅子に座つてたべる</p>
生活	<p>(低)一人一人の排泄間隔にあわせておむつ交換をしてもらう</p> <p>(高)おむつ交換をしてもらう</p>	<p>(低)一人一人の排泄間隔にあわせておむつ交換をしてもらう</p> <p>(高)おむつ交換をしてもらう</p>	<p>(低)一人一人の排泄間隔にあわせておむつ交換をしてもらう</p> <p>(高)おむつ交換をしてもらう</p>	<p>(低)一人一人の排泄間隔にあわせておむつ交換をしてもらう</p> <p>(高)おむつ交換をしてもらう</p>	<p>(低)一人一人の排泄間隔にあわせておむつ交換をしてもらう</p> <p>(高)おむつ交換をしてもらう</p>	<p>(低)一人一人の排泄間隔にあわせておむつ交換をしてもらう</p> <p>(高)おむつ交換をしてもらう</p>	<p>(低)一人一人の排泄間隔にあわせておむつ交換をしてもらう</p> <p>(高)おむつ交換をしてもらう</p>	<p>(低)一人一人の排泄間隔にあわせておむつ交換をしてもらう</p> <p>(高)おむつ交換をしてもらう</p>
着脱	<p>(低)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p> <p>(高)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p>	<p>(低)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p> <p>(高)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p>	<p>(低)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p> <p>(高)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p>	<p>(低)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p> <p>(高)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p>	<p>(低)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p> <p>(高)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p>	<p>(低)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p> <p>(高)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p>	<p>(低)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p> <p>(高)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p>	<p>(低)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p> <p>(高)汚れたり汗をかいたら着替えさせようとする</p>
睡眠	<p>(低)昼夜の区別がつく</p> <p>・静かな環境の中で安定して眠る</p> <p>(高)午前・午後の2回寝で充分な睡眠が取れる</p>	<p>(低)昼夜の区別が取れる</p> <p>・徐々に1回寝になり大体決まった時間に入眠して充分な睡眠が取れる(食事中・食事後半に眠たくならない状況を目安とする)</p>	<p>(低)昼夜の区別が取れる</p> <p>・徐々に1回寝になり大体決まった時間に入眠して充分な睡眠が取れる(食事中・食事後半に眠たくならない状況を目安とする)</p>	<p>(低)昼夜の区別が取れる</p> <p>・徐々に1回寝になり大体決まった時間に入眠して充分な睡眠が取れる(食事中・食事後半に眠たくならない状況を目安とする)</p>	<p>(低)昼夜の区別が取れる</p> <p>・徐々に1回寝になり大体決まった時間に入眠して充分な睡眠が取れる(食事中・食事後半に眠たくならない状況を目安とする)</p>	<p>(低)昼夜の区別が取れる</p> <p>・徐々に1回寝になり大体決まった時間に入眠して充分な睡眠が取れる(食事中・食事後半に眠たくならない状況を目安とする)</p>	<p>(低)昼夜の区別が取れる</p> <p>・徐々に1回寝になり大体決まった時間に入眠して充分な睡眠が取れる(食事中・食事後半に眠たくならない状況を目安とする)</p>	<p>(低)昼夜の区別が取れる</p> <p>・徐々に1回寝になり大体決まった時間に入眠して充分な睡眠が取れる(食事中・食事後半に眠たくならない状況を目安とする)</p>